

殺菌効果試験結果

カンピロバクター・ジェジュニ

—試験報告書—

株式会社 食環境衛生研究所  
〒379-2107  
群馬県前橋市荒口町 561-21  
Tel027-230-3411  
Fax027-230-3412

257030N-2-1

1. 表題  
機器精製オゾン水の微生物に対する殺菌効果試験

2. 試験番号  
No.257030N-2-1

3. 目的  
試験資材とカンピロバクターを反応させた時の殺菌効果を確認するために実施した。

4. 試験依頼者  
名称 ニイスマ 株式会社  
所在地 〒340-0834 埼玉県八潮市大曾根 1503-1

5. 試験実施機関  
名称 株式会社 食環境衛生研究所  
所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21  
試験責任者 松本彰平

6. 試験スケジュール  
試験受託日 2025 年 4 月 11 日  
試験開始日 2025 年 6 月 2 日  
試験終了日 2025 年 7 月 15 日

7. 試験資材  
試験品 :低濃度オゾン水 ハンドスプレータイプ  
対照品 :滅菌リン酸緩衝液

8. 試験品の調製  
水温 25±2℃の水道水 150mLをタンクに入れ、機器本体に接続、ボタンを押下し、オゾン水を排出させたものを回収し、試験品とした。

9. 供試微生物  
・カンピロバクター・ジェジュニ: *Campylobacter jejuni* ATCC29428  
上記微生物を寒天培地にて前培養作成し、滅菌精製水にて約 10<sup>6~7</sup>CFU/mL の濃度に調製したものを試験菌液とした。

257030N-2-1

10. 区の設定

区	検体	検査時点		
		0 秒 <sup>※</sup>	15 秒	30 秒
試験区	試験品	○	○	○
対照区	対照品	○	○	○

※0 分は対照区のみ実施した。

11. 参考  
「JIS Z 2801(抗菌加工製品-抗菌性試験方法・殺菌効果)」及び石炭酸係数法を参考として実施した。

12. 試験手順  
① 微生物検査方法(試験液の細菌数測定)  
試験液を、滅菌生理食塩水で適時希釈し、選択寒天培地で培養した。培養は下記の通りとし、培養後に発育した集落を計数して当該菌数とした。

対象菌種	培地名	培養方法
カンピロバクター	CCDA	微好気、35℃、48 時間

②試験方法  
試験資材及び対照資材を滅菌試験管に入れ、資材 10mLに対し試験菌液を 0.1mL添加してよく混合した。  
試験設定に従い、混合直後及び室温で一定時間反応させた後、残存する生菌数を微生物検査方法に従い測定した。

殺菌効果試験結果

カンピロバクター・ジェジュニ

257030N-2-1

13. 試験結果

試験結果を下表に示した。

対照区については試験開始時から終了時まで変わらず、 $1.1 \times 10^4$  CFU/mL であった。

試験区では、試験開始 30 秒後には  $1.2 \times 10^2$  CFU/mL (98.9% 減少) であった。

表 1 カンピロバクター試験結果

区	資材	生菌数 (CFU/mL)		
		開始時	15 秒	30 秒
対照区	対照品	11000	11000	11000
試験区	試験品		860	120

257030N-2-1

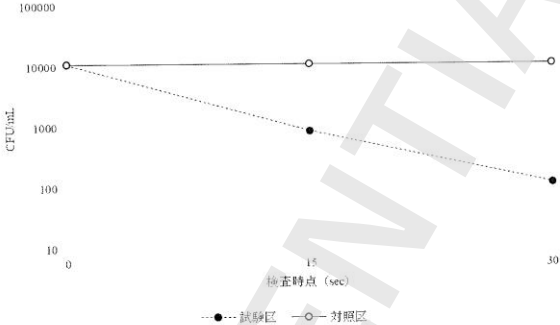


図 1 試験結果

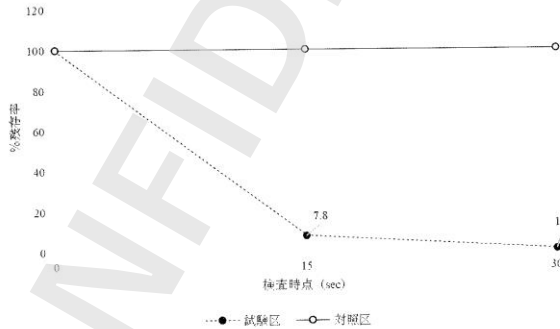


図 2 カンピロバクター残存率

257030N-2-1

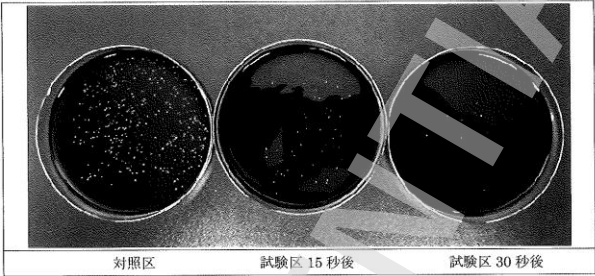


図 3 参考画像

14. 考察

試験の結果、試験資材のカンピロバクターに対する効果は、30 秒後で 98.9%の減少を示した。